



「東京2025世界陸上競技選手権大会」の代表を選考するジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ(JMC)・G1のひとつとして開催された今大会は、気温10.9度、西の風1.3メートルの条件下、招待選手9人、ネクストヒロイン選手1人、ペースメーカー7人を含む371人がスタートラインに立った。

レースは、松田瑞生(ダイハツ)、鈴木優花(第一生命グループ)=当時、松下菜摘(天満屋)、小林香菜(大塚製薬)、伊澤菜々花(スターツ)、海外からの招待選手2人を加えた計7人が先頭集団を形成し、10キロ地点を33分23秒で通過。以降、日本勢が徐々に後退する中、鈴木は中盤を過ぎて懸念に食らいついた。実業団1年目の小林は25キロ過ぎで離され、一時は先頭と約50秒の差がついたが、ペースを崩さずスパートのタイミングを見図る走りを見せた。



小林香菜(大塚製薬)



鈴木優花(第一生命グループ=当時)



ウォルケネシュ エデサ(エチオピア)

27キロ過ぎ、ウォルケネシュ エデサ(エチオピア)が鈴木を徐々に引き離すと、そのままトップの座を譲ることなく、2時間21分00秒で優勝。史上4人目となる大会連覇を達成した。



小林が日本人トップとなる2位でフィニッシュ。後半にペースを上げ、29キロ付近で3位に浮上した勢いのまま、残り800メートルで鈴木を抜き去った。自己記録を3分40秒更新する2時間21分19秒でゴールテープを切った。



松下菜摘(天満屋)

## 第44回大会 2025.1.26

■参加者:371人(ペースメーカー7人を含む)／日本人358人、外国人13人 完走323人  
■気温:10.9度(スタート時) 湿度42%(スタート時)

順位	氏名	年齢	国名(所属)	タイム
1	エデサ	32	エチオピア	2:21:00
2	小林 香菜	23	大塚製薬	2:21:19
3	鈴木 優花	25	第一生命グループ	2:21:33
4	サルピーター	36	イスラエル	2:24:03
5	松下 菜摘	30	天満屋	2:26:04
6	鈴木 千晴	31	日立	2:26:41
7	松田 瑞生	29	ダイハツ	2:27:11
8	伊澤 菜々花	33	スターツ	2:29:28

鈴木は2時間21分33秒で3位。最終盤で小林に日本人トップを譲ったが、2024年パリ五輪で記録した自己ベストを2分29秒更新した。粘り強い走りを見せた松下は2時間26秒04秒で日本人3位となる全体5位に入った。